

## 事例

通販サイトで商品を注文しようと思ったけど、偽サイトかもしれない。偽サイトかどうか見極める方法はないの？

JC3（一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター）は、インターネット利用者がウェブサイトの危険性の有無について確認することがサービス「SAGICHECK」を公開しています。（<https://sagichck.jp/>）

注：確認結果につきましては、あくまでご自身の判断の参考としてご利用ください



カメラがかなり安く売ってるけど、このショッピングサイトで注文しても大丈夫かな？

そんな時は…

# SAGICHECKでサイトCHECK!



安全



危険!



SNSでサイバー犯罪の最新手口を随時投稿中です。ぜひフォローしてチェックしましょう！

詳しくはこちら



公式X (@JCNiitter) 公式Instagram

# 知る！学ぶ！防ぐ！サイバー犯罪

福岡県八女警察署

## 相談事例から「知る！学ぶ！防ぐ！」

### 事例

台風が近づいていたので、SNSで台風に関する情報を確認していたら、突然アダルトサイトに繋がった。

スマートフォンなどのモバイル端末を使ったメールやSNSは、災害発生時の貴重な情報源となる反面、情報の中には真偽の分からない、いわゆる「デマ情報」が含まれていることもあるので注意が必要です。

#### アダルトサイトに誘導



SNSで災害に関する情報を確認中、添付画像をタップすると、アダルトサイトに繋がったというケースもあります。災害への警戒を呼び掛ける文言も書かれており、一見するとおかしなところがないので注意が必要です。

#### 災害時にデマ情報を投稿

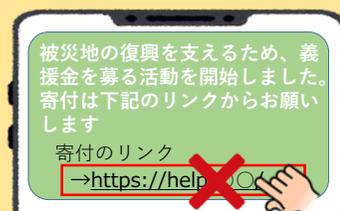


地震のせいで、家の近くの動物園からライオンが放たれた #福岡

過去には、デマ情報をSNSに投稿したことで、逮捕されたケースも…

#### 災害に乗じた詐欺行為等

正式な組織を装い、被災地への復興支援活動の目的と騙り「義援金」などと称して金銭を騙し取る悪質な詐欺も確認されています。寄付のお願いと称してフィッシングサイトに誘導されるケースもあります。



被災地の復興を支えるため、義援金を募る活動を開始しました。寄付は下記のリンクからお願いします

寄付のリンク

→<https://help>

AI(人工知能)で作ったデマ画像なども確認されているよ。情報の真偽はきちんと確認しよう！

#### 被害に遭わないために

- ◆ 真偽の分からない情報を転送したり、リポストして拡散しないようにしましょう
- ◆ 情報を伝える時は、真偽を確かめてから責任を持って発信しましょう
- ◆ メールを受信した時は、リンクを安易にクリックしないようにしましょう